

昭和57年度 福利厚生事業計画

- 第15回商社対抗野球大会
日時 5月10日～8月上旬 午前6時開始
場所 金沢問屋センター球場
- 第12回商社対抗麻雀大会
日時 6月12日(土) 午後6時30分開始
場所 金沢問屋会館 2階ホール
- 第15回納涼盆踊り大会
日時 7月24日(土)午後7時 雨天時7月26日(月)
場所 北陸銀行金沢問屋町支店横 第一共同駐
車場
- 第8回ソフトボール大会
日時 9月12日(日) 雨天時9月15日(祭)
場所 金沢問屋センター球場
- 第10回社員園遊会
日時 10月9日(土) 午前11時～午後5時
場所 A公園及び歩行者道路上
- 健康診断
日時 8月25・26・27日 午前9時30分～午後4時
場所 金沢問屋町会館 2階ホール
- 成人病検査
日時 8月23・24日と58年2月22・23日2回実施
午前8時30分～12時
場所 金沢問屋町会館 2階ホール
- お茶教室
毎週水曜日 午後5時～7時迄
会館2階和室 裏千家
- お花教室
毎週金曜日 午後5時～7時迄

会館2階和室 草月流
●きものきつけ教室
毎週月曜日 9月より新たに生徒を募集します。

麻雀大会

厚生委員会主催・第12回商社対抗麻雀大会は、去る6月12日(土)午後6時30分より問屋町会館2階ホールで開催され、個人戦で(株)川崎商店社長・川崎晃氏が逆転の末初優勝した。

大会は楠委員長長の挨拶、松本副委員長長のルール説明の後、参加33商社の精鋭100名が、日頃の鍛練と明晰な頭脳をフルに使い、真剣なまなざしで展開していった。

主な入賞者は次の通り。(敬称略)

団体の部		(百点)
優勝	厚生委員会	1,933
準優勝	(株)立元商店	1,452
3位	北陸東芝家電販売(株)	1,061
個人の部		
優勝	(株)川崎商店 川崎 晃	1,195
準優勝	(株)松本紙店 大野木義人	909
3位	(株)立元商店 白井 稔	727
4位	北陸ダイヤ(株) 定免 利英	671
5位	(株)田村勝治商店 荒木外美男	598
6位	泰和ゴム興業(株) 竹村 毅	586
7位	岩崎(株) 竹田 好俊	568
8位	(株)内外電機製作所 高田 信広	561
9位	(株)田村勝治商店 沢地 興南	523
10位	永和設備工業(株) 水口 佳英	469

戦国武将の経営戦略

戦国時代にもあった 自由出退勤制

戦国武将の経略を経営とみたとて、現代の経営と比べてみると、思いの外に彼らが新しいことをやっているのに驚く。今、一部に導入されているフレックスタイム(自由出退勤制)などは、ヨーロッパの若い労働者の人気が集まっているというので、極く最近、日本にも上陸したシステムだが当初「日本人向きではない」という批判もあった。しかし、このシステムは、ヨーロッパどころか、日本で四百年もの昔に発案実施した武将がいる。武田信玄である。

武田の家臣は、従前毎朝出勤していたが、信玄は、「毎朝の出仕には用事(私事)調ひ難かるべし」といって、「朝、時間が要る者は昼か晩に出勤せよ、晩に、時間が要る者は朝出勤せよ、朝夕、都合ある者は昼に出勤せよ」とシステムを改めさせ、その上「何れも

帳に付べき」と令している。始めて、出勤簿を付け出させたのである。(名将言行録)それ以前は出勤簿もなかったことがこれでわかる。ガチャンコ無視の出勤をさせていたわけだ。武田家のフレックスタイム制は、社内で評判よく、社員たちは、いよいよ、精を出して勤務したとある。

信玄のこのフレックスタイム制は、全社員必らずそろっているという時間帯を盛り込んだコアタイムがない。つまり完全自由出退勤制である。よく、一部に会議ばかりやっている、会議好きの経営者もいるようだが、信玄は、フレックスタイム導入に当って、会議のことなど、念頭になかった感がある。信玄は、軍略兵法に通じた外部の人物を講師に呼んで、話をさせ、居合す武田社員たちにも聞かせた。そういう席には、信玄は必らず出席して講師の話をもメモしたというエピソードもある。社長が列席して、メモなどとられたら、外部講師も、全力投球をしたに違いない。天下の名将の前で、軍略を講じるなど、「とんでもない」と辞退する講師を、信玄は、たつての依頼をしてよんでいるところも面白い。

協同組合 金沢問屋センター

第22号 1982年7月発行
協同組合 金沢問屋センター
発行者 小川 甚次郎
金沢市問屋町1丁目
電話 37-8585



《6月の立山》



十五周年を迎えて

15周年記念行事委員会
委員長 宗広 満夫

景気は依然停滞気味で低迷の色を一段と厚くしている時期に、金沢問屋センターが創立十五周年の佳節を迎えるにあたり、今日迄の多難な時代を乗り越えられ、現在のセンターの姿に築き上げられた先輩方の御労苦と御努力に対し、改めて心から感謝する一人であります。しかし当センター発展と同時に地域社会と、組合及び各企業の変化が生じている昨今であります。この様な時代の変化に対し、私達がこの十五周年を一つの節として、近くは二十周年を目指し、遠くは二十一世紀に向っての、当問屋センター造りに組合員一人一人が考え、行動を共にし、発展に努力を重ねていかなければなりません。皆様もご存知の様に、国鉄高架化に伴ない駅西開発が色々計画される中で、当問屋センターにおいてもこの度創立十五周年記念として、流通新会館、コンベンションホールの建設計画を進めております。

又、来る10月4日には中西知事、江川市長をお招きして盛大に十五周年の記念式典を行い、同日金沢市に対して救急車一台寄贈の伝達式を行います。尚10月7、8日には繊維同業会の売出しを行い、9日には社員を中心とした園遊会を同センター内で盛大に催したいと思っております。この園遊会には警察音楽隊、自衛隊音楽隊、諸江小学校鼓笛隊も参加し、一日楽しく過していただき、この意義ある十五周年を一つのステップとして、皆さんと共に明日の企業の繁栄に努力してまいらうではありませんか。

第19回通常総会開催

当組合の第19回通常総会は、去る5月20日午後2時より問屋町会館2階ホールで開催された。

本年が団地完成15周年であることを挨拶の冒頭で述べた後、小川理事長は各委員会の積極的活動により共同事業が前年度同様の成果をあげていることと、流通会館を含む59年度までの建築予定を述べられた。また、貿易摩擦、円相場そして行財政改革の影響を受けている経済動向につづき、この不況に対処すべく、組合員個々の企業努力と体質改善を呼びかけ、最後に今後の組合運営について来賓及び組合員各位に対し、援助と協力を要望して挨拶を終えた。

その後、議案審議に入り、全議案が原案通り承認された。

1. 開催期日 昭和57年5月20日 午後2時
2. 開催場所 金沢問屋町会館2階ホール
3. 組合員総数 160人
4. 本人出席 76人
5. 委任状出席 45人
6. 議長 小川 三郎
7. 議案審議の状況

司会者より、出席定数が過半数を超えているので、本通常総会は成立する旨報告後、議案の審議に入る。

- (1)議長は、第1号議案 昭和56年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認及び監査報告の件を上提、事務局に朗読を求めた後、議場にはかったところ、事業報告のうち一部文書を整備することとし、原案どおり承認した。
- (2)議長は、第2号議案 剰余金処理(案)承認の件を上提、事務局に朗読を求めた後、議場にはかったところ、全員異議なく原案どおり承認した。
- (3)議長は、第3号議案 昭和57年度事業計画(案)承認の件を上提、事務局に朗読を求めた後議場にはかったところ、全員異議なく原案どおり承認した。
- (4)議長は、第4号議案 昭和57年度収支予算(案)並びに賦課金の賦課徴収方法承認の件を上提、事務局に朗読を求めた後議場にはかったところ、全員異議なく原案どおり承認した。

役員名簿

相談役理事	若林 保四	理事	坂川 栄一	理事	八田 隆年	理事	越田 春雄	理事	堀川 善昭
"	室 七勇	"	小阪 誠一	"	川上 嘉一	"	西谷 弘次	"	永井 栄一
理事長	小川 甚次郎	"	小川 三郎	"	南川 善智	"	楠 幸雄	"	成瀬 巖
副理事長	辰川 申治	"	山田 治男	"	来馬 満春	"	稲本 弘	"	丸岡 信一
"	越原 哲郎	"	森 佐久次	"	道上 歩	"	上野 英吉	"	川崎 晃
"	越井清太郎	"	伊藤 四郎	"	玉井 義昭	"	井上 三郎	"	北島 成至
"	宗広 満夫	"	石黒 伝六	"	高桑 健治	"	北島 成至	監事	岡田 寛
専務理事	金子 哲夫	"	多田 与二	"	笠師喜美男	"	島崎 政幸	"	竹村 孝夫
		"	荒木 登	"	富木 昭光	"	紙谷 邦蔵	"	芦原 孝二

- (5)議長は、第5号議案 昭和57年度借入金の最高限度額承認の件を上提、議場にはかったところ全員異議なく、最高限度額40億円を承認した。
- (6)議長は、第6号議案 組合員脱退承認の件を上提、全員異議なく、奥村株式会社、野村産業株式会社、笹井株式会社の脱退を承認した。
- (7)議長は、第7号議案 退職役員慰労金の件を上提、本年10月に行う完成15周年記念式に感謝状に添えてお渡しすることで、理事長に一任願いたいとはかったところ、全員異議なく承認した。
- (8)議長は、第8号議案 理事、監事改選の件を上提、選任方法について議場にはかったところ、議長一任の声があり、議長は選考委員に若林保四、八田隆年、来馬満春、玉井義昭、玉田善仁、中橋重信、多田成喜各氏を指名、別室で選考委員会を開いて選考し、若林委員長より議長に選考名簿を提出、議長は選考名簿を朗読後議場にはかったところ全員異議なく、理事40名、監事3名を選任した。
引続き新理事により別室で理事会を開き、相談役理事、理事長、副理事長、専務理事を互選し理事会を閉会し、総会議場に報告したところ、全員異議なく承認した。
以上で議案の審議を終了した。

来賓出席者

杉山県副知事	山根商工中金沢支店長
小池金沢市経済部長	平川北国銀行問屋町支店長
前川石川県商工課長補佐	辻北陸銀行金沢問屋町支店長
橋本金沢市商工観光課係	古谷野三菱銀行金沢支店長
本谷中央会専務理事	



(協)金沢問屋センター

委員会の編成

◎委員長 ○副委員長

委員会担当役員

総務・厚生	越井 副理事長
財務・金融・広報	越原 副理事長
企画開発・事業	宗広 副理事長
労務・建設・環境整備	辰川 副理事長

総務委員会

伊藤 洋品(株)	社長 ◎伊藤 四郎
丸西食品工業(株)	" ○西谷 弘次
芦原(株)	" 芦原 孝二
荒木商事(株)	" 荒木 登
多田与(株)	" 多田 与二
イシワラ(株)	" 田口 辰秀
(株)辻茂	" 辻 安伴
大洋興業(株)金沢営業所	所長 末松 杜生
(株)北陸衣料商会	社長 中村外喜雄
(株)小鍛冶本店	" 米沢 勝治
(株)内外電機製作所北陸営業所	所長 山本 崇
南陽(株)金沢営業所	" 右田 宏之
(株)武蔵電業社	社長 柚木 健
東(株)	" 東 清
(株)小堀酒造店金沢営業所	所長 迎 博之
中橋(株)	社長 中橋 重信
尚和印刷(株)	" 松村 克雄
相川商店	店主 相川 徳雄

財務委員会

川上産業(株)	社長 ◎川上 嘉一
(株)永井商店	" ○永井 栄一
石織(株)	" 山田 治男
一恵商店	店主 坂川 栄一
(株)井口商店	社長 井口総一郎
岩崎(株)	" 岩崎 直一
北陸通信工業(株)	専務 高桑 利夫
明希(株)	" 坂本 勇

金融委員会

東和工業(株)	社長 ◎南川 善智
(株)東山商会	" ○道上 歩
森佐(株)	" 森 佐久次

(株)竹村商会	社長 竹村 孝夫
(株)土屋九兵衛商店	" 土谷 茂
北日商事(株)	" 太田 敬祐
北陸ダイヤ(株)	" 原 隆三
(株)小倉商店	" 小倉外志郎

事業委員会

丸与商事(株)	社長 ◎八田 隆年
金沢機工(株)	" ○井上 三郎
(株)堀川商店	専務 ○堀川 善昭
小川(株)	" 横井 隆志
(株)金糖	常務 増田 莊太郎
安井電機(株)	社長 安井 章
サンコー(株)金沢営業所	所長 東 博之
秋常金属(株)	社長 秋常 常吉
(株)丸一商店	専務 黒梅 吉英
石原商店	店主 石原 一衛
(株)佐野紙店	社長 佐野和一郎
(株)丸治服飾	" 藤野 治
(株)丸吉商店	" 宮 宣雄
(株)田村勝治商店	" 田村 憲司
藤木工業(株)	専務 藤木 顕世
(株)川助	社長 川端 嘉平
(株)伊藤	専務 伊藤 祐吉
(株)湯浅惣兵衛本店	" 湯浅 泰夫
石川立山サッシ販売(株)	常務 堀井 広治
東洋精器工業(株)金沢営業所	所長 吉谷 八洲夫
東山メタルビル工業(株)	社長 飯山 輝雄

労務委員会

共栄電機(株)	社長 ◎高桑 健治
(株)タマイ	" ○玉井 義昭
(株)東山商会	専務 ○道上 明
石川トヨペット(株)	社長 上野 英吉
北陸ポイント(株)	" 山田 修三
(株)賛協	" 多田 成喜
岡本(株)	専務 岡本 進
(株)樫村金沢支店	支店長 鈴木 肇行
丸西食品工業(株)	専務 西谷 憲三

厚生委員会	
クスノキ(株) 社長 ◎楠 幸雄	伊藤洋品(株) 部長 佐藤 昭典
(株) 松本紙店 " ○松本 晴吉	塔島(株) 副社長 伊藤 淳蔵
(株) 川崎商店 " ○川崎 晃	(株) コシハラ 専務 塔島 彦夫
丸宮商工(株)金沢支店 支店長 市山 俊雄	石織(株) " 山田 治作
大坪商事 店主 大坪 頭伸	共栄電機(株) " 高桑 幸一
(株) 大沢商店 専務 大沢 忠之	
エンパイヤ自動車(株)金沢営業所 所長 中島 健	
サンデン販売(株)金沢営業所 " 武井 隆	
(株) 橋爪商会 社長 橋爪 弥則	
ハットリ産業(株) " 服部 厚三	
ナカダ(株) 部長 木村 正雄	
須田(株) 専務 須田太喜男	
(株) トオル 社長 本橋 徹	
(株) ボニータ " 伊登 真	
山和(株) 部長 島本 元三	
久江田(株) 専務 久江田義久	
(株) 三玉商店 " 岡田 一良	
斉田商店 店主 斉田 八平	
福助(株)金沢支店 支店長 藤井 範明	
(株) 室七 社長 室 七蔵	
共栄商会 部長 河合 清	
カト一産業(株) 社長 加藤 肇夫	
弘進ゴム(株) " 今井 仁	
西本産業(株)金沢営業所 所長 浪越 修	
斉田ベビー(株) 社長 斉田 泰吉	
建設委員会	
(株) 丸昌 社長 ◎来馬 満春	
(株) 紙谷物産 " ○紙谷 邦蔵	
小川商事(株) " 小川 三郎	
北村電機産業(株) 部長 小島 修一	
(株) 五井建築設計研究所 社長 新村 利夫	
山村(株) " 山村 敏英	
(株) 七宝商事 " 玉田 善仁	
(株) 八木熊金沢営業所 所長 永田 政雄	
北陸東芝住設機器(株) 社長 小野 謙造	
三和通商(株) 専務 北村 理一	
(株) 星光堂北陸営業所 所長 椎野 建二	
吉久木材(株)金沢営業所 " 長森 亮朔	
丸石自転車(株)金沢営業所 " 水庫 正功	
企画委員会	
富木医療器(株) 社長 ◎富木 昭光	
玉田商事(株) " ○越田 春雄	
成瀬電気工事(株) " 成瀬 巖	
(株) たなかや " 田中 清隆	

東和工業(株) 部長 佐藤 昭典	石川糧穀(株) 社長 ◎稲本 弘
伊藤洋品(株) 副社長 伊藤 淳蔵	島崎(株) " ○島崎 政幸
塔島(株) 専務 塔島 彦夫	(株) 寿商会 専務 若林 智雄
(株) コシハラ 常務 越原 悠三	理光商事(株) 社長 田川 孝三
石織(株) " 山田 治作	ナカダ(株) " 中田 外義
共栄電機(株) " 高桑 幸一	(株) カツオ " 勝尾 健一
	島田商事(株) " 島田 良造
	矢部物産(株) 常務 矢部 嶺男
	尚和印刷(株) " 山口 貞雄
	越井商事(株) 専務 加島 茂
(株) 前垣商店問屋町営業所 所長 前垣内秀一	
糸生(株) 専務 小阪 邦弘	
広報委員会	
石川糧穀(株) 社長 ◎稲本 弘	
島崎(株) " ○島崎 政幸	
(株) 寿商会 専務 若林 智雄	
理光商事(株) 社長 田川 孝三	
ナカダ(株) " 中田 外義	
(株) カツオ " 勝尾 健一	
島田商事(株) " 島田 良造	
矢部物産(株) 常務 矢部 嶺男	
尚和印刷(株) " 山口 貞雄	
越井商事(株) 専務 加島 茂	
(株) 前垣商店問屋町営業所 所長 前垣内秀一	
糸生(株) 専務 小阪 邦弘	
環境整備委員会	
北島(株) 社長 ◎北島 成至	
(株) 丸信丸岡屋商店 " ○丸岡 信一	
中嶋帽子 店主 中嶋 捨吉	
石川ゴム製品(株) 社長 堀江 一雄	
織田寝具(株) " 織田 末男	
街吉野利工具 " 吉野卯太郎	
トヨーニットタイヤ北日本共販(株) " 堀 作二	
百萬石酒造(株)金沢営業所 所長 市野 重信	
(株) 立元商店 社長 立元 義雄	
同信産業(株)金沢営業所 所長 西村 功宏	
ナカキン 店主 中村 輝夫	
石川日産自動車販売(株)問屋町営業所 所長 西野 和人	
中央自動車工業(株)金沢営業所 " 紺崎 友博	
中川薬品器材(株) 社長 中川 有人	
(株) スズケン金沢支店 支店長 野村 喜昭	
永和設備工業(株) 社長 永尾 高士	
金沢シュランク(株) " 小森外次郎	
北陸プレミアム(株) " 池端 達	
泰和ゴム興業(株) " 藤本 民子	
加陽月星ゴム(株) " 竹内 重俊	
山和ソーイング(株) 専務 鳴 示大	
(株) 田中営業所 社長 高崎 修次	
北陸東芝家電販売(株) " 齊藤 勝美	
金沢問屋町急便協同小組合 理事長 二山 清次	
大栄機械産業(株)金沢支店 支店長 大野 武志	
(株) 丸吉金沢営業所 所長 松田 一郎	

*** 新委員長に抱負を聞く ***



財務委員会委員長
川上 嘉一

財務委員長をやりたいとの話があった時、「シマッタ」というのがその時の実感である。というのは理事会に於いて、越原前財務委員長が組合の健全財政という観点から孤軍奮闘して居られた場面を何回か見ているからである。会議というものは、威勢の良い積極論が主流になり易い。その中で敢然と、反対意見を述べることはそれだけでも容易な事ではない。問屋センターには、立派な金庫番がいられると、その時思ったことを覚えている。そのお鉢が廻って来たのだからたまったものでない。私にはとても前委員長程の識見と勇気は無いと、固辞したが大体が要領の悪い方で、くどき落されてしまったのが実態である。

株式会社の運営でも過半数支配の大株主でありながら、少数意見を真剣に聞いていられる社長の、会社運営を立派なやり方だと感服した事もある。金沢問屋センターが今日迄健全な発展を遂げて来たのも、少数意見に耳を傾け乍ら議論が尽くされて、運営されて来たからに外ならない。少数意見の尊重は組合運営の要である。

財務委員会の主なる仕事は、健全財政を基本としながら未来を志向する諸施策——目前には特に流通会館の建設——との調和を、如何に計るかである。前委員長には及びもつかないが、金庫番らしく振舞いたいと考えている。



金融委員会委員長
南川 善智

当センターの転貸融資は、団地内にある土地建物を適正に評価して、その評価額の範囲内の金額を金融機関より融資を受けて、各組合員に転貸する制度です。昨今のような低成長時代ですと借入利息が、人件費について純利益を左右する重大な要素です。高度成長期の時代は借入利息の決算年間比較で、会社の成長を表すバロメーターの如くいわれましたが、48年のオイルショック以降、会社の健全性を表す指標に変化してまいりました。したがって売上げに応じた適正借入の仕方が各組合員經理担当者の腕の見せ所といえます。自己資本が少ない日本の企業では手形制度というものが根絶しない限り、年間売上比10%以上の運転資金が常に必要です。転貸貸付は6ヶ月

を限度として、融資しているのですから、長期運転資金は当センターを利用され、季節変動又は短期資金は各金融機関を利用するのがベターではなかろうかと思えます。歩積、両建預金禁止を大蔵省より通達されていますが、金融機関も営利を目的としています。裏付のない貸出しは出来る筈がありません。組合員個々の預金口座の出入が信用度合の判断材料となっていますし、貸出と預金の比率が貸出金利の上下の基準となっているのです。

転貸融資は上限が定められています故、評価額以上の過大なる要求に応ずる事は不可能ですが、上記の事実を認識されて上手な資金運営が出来るのではないのでしょうか。

現在此の制度を基盤として更によりよい当センターの金融政策を前進させたいと考えています。



事業委員会委員長
八田 隆年

今回計らずも、富木委員長の後任として、事業委員長を委嘱されました。従来より富木委員長の下で事業委員として動いては居りましたが、委員長としての責任が課せられますと事の重大さに面喰って居る現状です。

早速更めて委員会組織規約等を読んで居りますが、組合員の皆様にも認識して載き度く下記に列記致します。

- 規約第4項事業委員会所管事項として
1. 組合事業の普及に関する事。
 2. 共同の施設、及び事業企画運営に関する事。
 3. 組合員の共同事業参加、促進に関する事。
 4. 経営者研究会等に関する事。
- とありこれを具体的に述べれば、
1. トナミ運輸との共同運送に依る運賃交渉他。
 2. 共同倉庫、会館、駐車場の賃貸。
 3. ガソリン価格の交渉。
 4. 高速道路の割引利用。
 5. 経営者研究会として講演会等の企画。

以上の様に比較的幅広い事業の推進とはなりますが、これらの事業収入としても駐車場の年間2,500万円を初め、5,000万円前後の収入を挙げて居りますが、いづれも組合のみの利益ではなく組合と組合員双方にメリットのある事が絶対条件と考えられるが故に色々と課題もあろうかと思われま。

又トナミ運輸との運賃交渉、ガソリン業者とのガソリン価格の交渉等は、大袈裟に言えば金沢でのプライスリーダーとして、周囲から注目される所

であり、且相手方の立場も考慮の上の交渉ともなれば、これまた種々の問題も絡んで参りますが、いずれにせよ当事業委員会は、組合運営上の重要なポイントと、自覚の下努力致す所存です。幸い井上、堀川両若手副委員長を初め優秀なる委員各位に恵まれて居り、全員のお力をフルに活用して、組合員の皆様の御期待にそい得る様、頑張ります故何卒宜敷く御協力の程お願い申し上げます。



厚生委員会委員長
楠 幸 雄

団地完成15周年の記念すべき年に厚生委員長を命ぜられ、その重責を全とう出来るかどうか案じております。

今年は15周年の記念行事として、盛大なる社員園遊会を催す事になりました。行事内容については御期待を担って、既に委員会で幾つかの新しい企画をたてております。

又団地完成以来恒例の行事として、有名になりました納涼盆踊り大会は、夏の一夜を更に盛り上げたく、各社の社長様を始め、社員とその家族、そして地域の方々と共に連携を密にして、賑々しく開催したいと考えておりますので、各社からも一層の御参加を賜ります様、御願ひ申し上げます。この時を機会として、近々団地内の社員代表と厚生委員会のメンバーとの懇談会も新しく計画しておりますが、諸行事の内容について若い方々の御意見を載せ、今後の余暇活動の在り方等についてお話し合いをし、行事運営に資したいと思っております。

又スポーツ面でも、野球大会やソフトボール大会を通じ、社員間の親睦を計り、ひいては団地内相互の連帯意識を高めるのも大切な仕事と考えております。

更に毎週各先生方の、御熱心なる御指導のもとに、行なわれております茶道、華道、着物着付教室等も引続き開講しておりますが、今ではかなりベテランの方も多様で、主に女子社員の情操教育を豊かにし、素晴らしい社会人を育成する場として、定着していることもうれしい事です。

これからは厚生委員会は、皆様と共にあるとの基本的な考え方で、努力してまいりますので、絶大な御協力を賜ります様御願ひ申し上げます。



建設委員会委員長
来 馬 満 春

一言御挨拶申し上げます。

当委員会の所管事項は、組合で所有する共同施設の管理と組合員の方々が新築、増築される時の管理以上2つの目的を仕事としております。

まず、共同施設についてですが、今年は団地完成15年目にあたりますが、共同施設の建築物については、それ以前に完成しており、今年で17年を経過する関係上、老朽化が進み、その修繕費は年々増加しておりますが、利用される方々に、御迷惑のかからない管理を、今後も継続して参ります。

尚共同駐車場についてですが、現在10ヶ所約700台収容の、駐車場を所有しておりますが、まだ不足の為、共同倉庫2棟のうち、第二共同倉庫の老朽化が特に激しく、その維持管理が困難になって来ておりますので、解体し、跡地を共同駐車場として使用するべく、現在工事中であります。

7月中旬頃には完成し、約170台収容を予定しておりますので、団地内駐車場難をある程度解消できるものと思っております。

つぎに、組合員の方々が新増築される際の管理についてですが、建築される場合、当然市の建築確認の許可が必要となりますが、団地内ではその許可以上に、建築協定により規制しております。これは、旧市内より、当地へ移転した要因を分析し、旧店舗の状態に戻らない為に、作られた協定でありますので、皆様方が新増築される際、必ず当委員会に御相談されますよう、御願ひ致します。

快適な環境で、今後も営業を行い、北陸の流通基地として更に発展する為、建築の面で努力致しますので、皆様の御協力を御願ひして、挨拶と致します。



企画委員会委員長
富 木 昭 光

この度、企画委員長を引き受けることになりましたが、委員の方々のご協力を得て、団地発展の為に尽力していく所存であります。

変転極まりなく不透明な時代ではあるが、問屋センターの将来のビジョンは、どうあるべきかは、常に考えておかねばならない問題であります。そういう意味でも、当委員会の使命の重大さを感じずには居られません。

将来を考える場合、歴史的な過程の中において、過去の分析を行い現状の認識、見直しを考えてこそ、将来の展望が開けるものと信じます。まずその手順として、最も大切な事は財政的な基盤が、確立しているか否かを認識する必要があるかと思っております。と申しますのはいろいろな運営、事業を推進する場合、その裏付けとなるものがしっかりしていないと空理空論になりかねないと信ずるからであります。

現在、問屋センターとして抱える解決すべき多くの問題も、ないわけではありません。例えば、交通安全対策上の問題点として駐車場対策とか、共同倉庫跡地利用の問題とか、流通会館の運用とかいろいろありますが、全て問屋センターの再活性化、再開

発につながり長期の展望に立った企画立案が望まれるのであります。

そのような背景のもと、現在展開している駅西地区開発における、問屋センターの果たすべき役割の中に於て、夫々がもつ機能的な面もとらえることが出来るならば、有効適切ではないかと考える次第であります。当然金沢市における都市問題と共に、考えるべき問題でもなかろうかと思っております。

そのような観点から、各委員会と密接な関連のもと、意見の交換をはかり、有識者の卓見も取り入れて、理事会に積極的に提言し、繰り返し検討を加えることによって、理想を現実一步でも近づけ得るならば、私共の望外の喜びとするところであります。少くとも160社が協力して、ターゲットをしばり、何らかの追求を求めるならば、不可能を可能ならしめることも、夢ではないかと思っております。

来るべき21世紀に向けて、子孫の為にもよりよきビジョン作りを考えたいと念じております。



広報委員会委員長
稲 本 弘

この度、前任の小阪誠一委員長の後をうけて広報委員会を担当せよとの御指示を得ましたが、素より非才な身をかえりみて、その責任の重さに只々当惑しているばかりという心情で御座います。幸い経験豊富且つ有能な委員の協力を得まして、先達の残されました業績を辱ずかしめる事なき様、誠に微力では御座いますが、出来得る限りの努力を致したく思っております。

既に御高承の如く、世はまさに情報化時代といわれる昨今であり、時代のニーズの多様化を反映して、私達の日常生活の中にも映像・活字・音声を媒体として、様々なニュースが氾濫し、良き面にも悪き面にも多大の影響を及ぼしているのが現状であります。その為マスコミは一面、時代の寵児としてもはやされ、兎角華々しい分野であるとさえ思われ勝ちであります。もとよりコマースリズムとしての情報の分野には、一面的には私達の日常生活の中に話題を提供する事によって、円滑さを齎らす作用を持ち、又各分野に於ける事業活動の中に新しい情報を提供する事によって、時代の先取りに資し、更には時に応じて世相をリードし時代の進展に寄与する等々、先駆者的な役割を担う華麗な面も多々ある事と思っております。

しかし私達金沢問屋センターの広報誌に与えられた使命は、決してその様な華麗さは期待されないものであります。それは飽く迄も地味に、着実に、正確にをモットーとして当組合の日常活動の中に適確な情報を収集し、それを正確な記事にする事によって、組合員の皆様に着実な組合活動の進展状況を御

報告する事を、第一義的な目的としているものと思っております。しかし、更にはそれを一歩進めて、問屋センターの将来の発展に、些少なりとも寄与する事を希求して、出来得れば絶えず先進性を内包した建設的なテーマを求めて、広報誌の内容を一層充実したものにし、喜ばれる広報誌への理想を掲げて微力乍ら努力して行きたいとの念願も持っております。

皆様方には、益々の御協力と御鞭撻を賜わりたく御願ひ申し上げます。



環境整備委員会委員長
北 島 成 至

突然に当委員会担当のご指示を頂き、もとよりその器ではない微力な私にとっては、不安と困惑一杯でありましたが、金沢問屋センターの運営と発展のために、委員会組織がある以上、どなたかが、何時かは担当しなければならぬ事と、自分に言い聞かせ、勇気を出してお引受け致しました。

丸岡副委員長さん始め、委員各位のお知恵とご協力を得て、責務全うのため、懸命に努力致し度いと存じて居ります。

早速に頂戴した委員会規約によりますと、「団地内及びその周辺環境整備に関する事」が当委員会の担当業務であります。皆様のご協力さえ頂ければ、一見簡単な様で、しかし見方を変えると、行えば行こう程巾広く、又際限がない様にも思えて、焦燥に駆られる昨今であります。

量から質の時代へ、そして、物から心の豊かさ、ふれ合いの大切さが求められております。現在、住居は勿論のこと、職場やその他色々な場所での環境問題が、喧しく言われております。以前、外來の方からよく西部の街などと、表現されました様に、兎角殺風景に映りがちな、この問屋センターに、当委員会が出来、前任の来馬さんが初代委員長として、「問屋団地のみなさんが明るく、気持よく仕事に励み、又生活できるより良い環境造り」を抱負に努力されてこられました事をモットーとして、更に皆様方からのお気付きの点などを聞かせて頂き、私達のこの問屋センターを、私達の手でより快適な街にしなければと思っております。

何分にも、皆様方全員のご協力を賜わらねばならぬ事ばかりであります。どうかよろしく御願ひ申し上げます。



問屋町交通安全対策協議会
会長 笠 師 喜美男

交通環境は、交通大量時代といわれるように、問

屋団地内の自動車保有台数が、年々増加の一途をたどり、3,000台有余が稼働されております。交通事故件数も昨年は芳しからぬ数字が累計されております。

団地の立地状況は、周辺環境に比べて、特殊地帯として認められているため、事故の種類も一時停止の不履行のための出合いがしらの衝突、違反駐車による接触事故等々が、大勢を占めているようである。

さて問屋町交通安全対策協議会も、団地の造成と共に10年1節と申しますが、15年目の意義ある年を迎えたのであります。問屋センター内各商社の協力と指導により、事故防止の効果もそれなりに上げて来たようである。

然し残念なことですが、昨年は事故が多発いたし、例年の倍数をこえる件数となりました。団地内の安全施設も、管内警察署及び、問屋センター理事会の深い御理解と、強力なご支援のもとに信号機の取り付け、一時停止の表示、駐車場の整備拡充等々、着

着と進んで参りました。以上の努力にもかかわらず事故が増加することに、いささか疑を持つものであります。

「一罰百戒」一度の痛ましい事故をおこせば百回の戒を言っても及ばない。この一句にこめられた教を踏まえて、運転者のモラルの昂揚に尽したいと思っております。

当協議会役員各位に於かれては、誠に献身的努力を惜みず、交通安全に対して、貢献いたしていることに深甚の敬意を表するものであります。

歴代会長が残された立派な業績を受け継いで、極めて微力な私が果たして維持出来るかどうか、責任の重大性を痛感している次第です。

前述の通り、幸いにも当協議会役員各位の連帯感と、強力なご支援があることを確認いたしましたので、安堵いたしております。

《人間性、おもいやり、ゆずりあいとゆりの運転》をテーマとして、事故皆無を目標に、精一杯のお勤めをいたしたいと存する次第です。

*** 新入社員歓迎式 ***

4月2日午前10時より問屋会館ホールにおいて、42社 160名（男78名・女82名）の新入社員歓迎式を挙行了。小川理事長の挨拶に続き、来賓の方々から祝辞を賜り、先輩代表として(株)寿商会の玉上訓堂さんより歓迎の辞があり、これに対して新入社員代表の(株)丸菱の竹田雅一さんが答辞を述べ閉式した。

式後、(株)大和専務取締役・大井一星氏の「企業の期待する人間像」と題した記念講演があり、新入社員をはじめ、事業主も熱心に聴講された。新入社員にはそれぞれ弁当と男女別記念品を、また県よりの記念品も加えて贈り、祝福のしるしとした。



電話教室

新入社員電話教室は4月5、6、7日の3日間に、36社 117名（男39名・女78名）が参加し、行なわれた。金沢電話局営業部より講師を迎え、ビジネス電話の応対、マナーについて用例を参考に実技面に重点を置き、映画により注意点を再確認しながら、3時間に及ぶ指導を仰いだ。

新入社員研修会

4月10、11日の2日間、県立医王山スポーツセンターにおいて、32社 104名（男51名、女53名）の受講者が(財)修養団の乾井孝明、久世郁夫の両講師の指導の下に、独自の方法で行なわれた研修に参加した。「童心行」と名づけられた時間には、童謡や遊戯を行ない、幼稚園の頃の再現のようであった。はじめはとまどっていた者も次第に園児の心を取り戻したようであった。

完全なる暗闇で始まる「燈火の集い」では我身をやいて暗さを照らすろうそくを例に、親の愛を説かれ、受講者一同考え直させられたようである。その他講話や静座、話し合い学習の時間などがあり、受講者はそれぞれ何か掴むものがあったと思う。

なお、最終日に受講者全員に書いてもらった感想文は、各会社の事業主へ参考にお届けした。



問屋町交通安全対策協議会 第14回 通常総会

問屋町交通安全対策協議会（会員総数 145）の、第14回通常総会が、去る6月9日(水)午後1時より、問屋町会館2階ホールで金沢東警察署署長・高松正明氏、同交通課長・新田敬司氏を来賓に迎え開催された。（出席116人）

本年は役員改選の年にあたり、会長の金沢機工(株)社長井上三郎氏が辞任することになった。氏は3期半7年の永きにわたり、会の運営に献身的努力を傾けられ、交通事故防止に多大の貢献をされた。後任には、(株)丸菱社長・笠野喜美男氏が就任、その他役員26名が選任された。

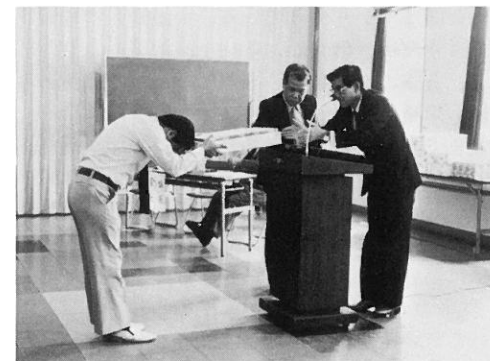
本会の事業として、昨年度は交通映画を持ち回り上映し、交通安全思想の普及に努めたが、問屋町派出所齊藤巡査の問屋町事故状況報告（別表参照）によれば、出合頭による物損事故が大幅に増加した。これらのほとんどは、一旦停止をおこしたものと考えられる。このため、今年度は街頭指導を強化し、適法な駐車を含めた交通ルールの確立を重点目標とすることになった。

又、総会終了後省エネ運転講習会（ガソリン節約のための運転方法）を開催した。

◆ 優良運転者表彰名簿

20年以上	小石政敏	(株)堀川商店
15年以上	中山正喜	北陸通信工業(株)
10年以上	稗島健三	一恵商店
5年以上	木口博文	金沢機工(株)
"	梶敏明	北陸通信工業(株)
"	松田誠治	小川(株)
"	上野秀男	石織(株)
"	岩田謙次郎	石織(株)
"	木下和彦	石織(株)
"	水口清隆	富木医療器(株)
"	森毅	富木医療器(株)

(以上11名)



問屋団地内の事故件数及び従業員の関係する事故件数

年度	事故種別	発生件数	従業員の関係する加害者数	従業員の関係する被害者数
53年	人身事故	19	2	6
	物損事故	7	4	2
	合計	26	6	8
54年	人身事故	12	2	1
	物損事故	12	2	1
	合計	24	4	2
55年	人身事故	16	1	3
	物損事故	13	0	0
	合計	29	1	3
56年	人身事故	23	2	2
	物損事故	26	5	6
	合計	49	7	8

事故発生形態別表

年度	形態	人 身				物 損			
		出合頭	側面	その他	計	出合頭	側面	その他	計
53年		7	6	6	19	0	5	2	7
54年		3	3	6	12	6	5	1	12
55年		7	5	4	16	6	6	1	13
56年		9	1	13	23	3	2	16	26

事故多発場所

年度	場 所
53年	(株)コシハラ交差点
54年	織田寝具(株)前、石川トヨペット(株)前東口交差点
55年	南口交差点 北陸東芝家電販売(株)角交差点
56年	東口交差点

グリーンカレンダー回収状況

内容	年度別	53年	54年	55年	56年
記入良		81	67	75	79
記入不良		19	31	21	27
未回収		30	31	40	30
内交通違反		110	99	81	82
物損事故		131	103	115	96
人身事故		26	10	10	14
無事故無違反		20	15	27	31